

建築工事特記仕様書〔木造〕

工事概要	
工事名称	邸新築工事
建築場所	
構造規模	

1. 一般共通事項

適用範囲

この特記事項以外は国土交通大臣官房官庁業務部 監修「木造建築工事標準仕様書」（平成22年版）に準ずる。但し本工事に関係ない事項は適用しない。

特記事項は○印のついたものを適用する。○印がない場合は※印のついたものを適用する。

疑義

設計図書の記載内容が相違する場合、明記のない場合又は疑義の生じた場合は、監理者と協議しその指示を受けてから施工する事。

優先順位

- 現場説明書（質疑応答書含む）
- 特記仕様書
- 設計図書
- 国交省営繕部監修 木造建築工事標準仕様書及び住宅金融支援機構建築工事共通仕様書
- 公共規格及びこれに準ずる規格

設計変更

設計変更を行う場合、変更内容を明示する図面、仕様書を作成し、変更に伴う金額の増減及び工程等を協議し、建築主、設計者、請負者の捺印又は署名を以って発効とみなす。

軽微な設計変更

現場の納まり、取合せその他の関係で材料の取付位置又は取付工法を多少変え等の軽微な変更が生じた場合は監理者と協議し、その指示を受けてから施工の事。

諸手続

工事に必要な諸届、諸手続きは請負者が速やかに処理し、この場合の経費は請負者の負担とする。

工事現場の管理

関係法令に従い、危険防止、災害防止に努め、特に火災には充分に注意する。又工事中火災保険を請負者に於いて掛け監理者に報告する事。又現場は常に整理し、工事完了に際しては建物内外を清掃する事。

発生材の処理

現場処分を原則とする。（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）及び（建設廃材の収集、運搬、埋め立処分）についての注意事項を守る事。

工事写真

すべてカラー 3部提出（完成写真を含む）
1. 工事着工前 敷地現況等
2. 施工中 施工中
3. 竣工時
提出書類 提出部数 3部

工事請負契約書に準ずる。
完成図（設計図面すべて）・施工図共（ 2面2折り製本）・完成写真・保障書・取り扱説明書等及びCADへの提出

2. 仮設工事

仮囲い

公道に面する部分 ・パネル囲・波板囲・ネット囲・シート張り
○ﾊﾞﾘｯﾄﾞ+安全ﾛｯﾌﾟ
隣接地に面する部分 ・パネル囲・波板囲・ネット囲・シート張り
○ﾊﾞﾘｯﾄﾞ+安全ﾛｯﾌﾟを基準に従い設置する。

足場棧橋

（枠組足場、丸太本足場、丸太抱足場、単管足場）を労働安全衛生規則、関連法等に従い適切に設ける。

ベンチマーク

監理者の指示に従い地盤面を定めて木杭、コンクリート杭等を用い、設置完成まで移動しないように養生する。

工 事 用 電 力 構内既存の施設・利用出来る（・有償・無償）○利用出来ない（仮設必要）
用 水 ・利用出来る（・有償・無償）○利用出来ない（仮設必要）
物 置 ・利用出来る（・有償・無償）○利用出来ない

3. 地業、基礎工事

根切り 機械掘りの場合は掘り過ぎによる地盤の損傷を起さないように注意する事。
砕石、地業 砕石は硬質なものとし、すき間なく敷並べ、ランマーにて十分に転圧する。

布 基 礎

セメント（JIS R5210）普通ポルトランドセメント
鉄筋（JIS G3112） ・ 丸鋼 S R24 ・ 異形鉄筋 S D295A
設計基準強度 ※（Fc）21N/mm² スランプ18cm ※ ステコン（Fc）21N/mm² スランプ15cm
○ 構造体強度補正値養生温度（8°～16°未満 3N）（3°以上～8°未満 6N）

調合、打込―機械練り又はレディーミクストコンクリートとし、打込は空けきのないよう突き固める。

養生―打込終了後は直射日光、寒気、雨風などを避け、むしろ等で養生する。
天端なし―布基礎の上端をあらかじめ水湿し、調合1：3のモルタルを水平に塗りつける。
埋戻し 根切土のうち良質土を利用し厚さ300m/m内外毎にたこなどで突固める。

整地 （建物周囲2mまで、建物場内全体）を水はけを良くする為 地ならしを行なう。

杭打

4. 木工事

本工事の構造耐力上主要な部分の構工法は次による。

・ 軸組み工法工事 ・ 大規模木造工事
・ 枠組壁工法工事 ・ 丸太組工法工事

材料
素材、製材、各種合板、集成材等の品質は、日本農林規格（JAS）に適合したものとし、なるべく（JAS）マーク表示品を使用する。

材種				
	部 位	樹 種	特 記	
	土 台	・ 檜 ・ 台湾檜 ・ 米 檜 ・ ひば	打ち合せにより最終決定する以下同様	
構	軸 柱（見え掛り）	・ 杉 ・ 米松 ひば	1等材	
	柱（見え隠れ）	・ 檜 ・ 杉 米松		米檜
	胴 差	・ 杉 ・ 米 檜 米松		
	け た	・ 赤松 ・ 黒松 米松		
	組 す じ か い	・ 杉 ・ 米 檜 米松		
造	そ の 他	・ 杉 ・ 米 檜 米松	米檜	
	は り	・ 赤松 ・ 黒松 米松		
	大 引	・ 檜 ・ 杉 米松		
	根 太	・ 杉 ・ 赤松 米松		
材	組 打 ば り	・ 杉 ・ 赤松 米松		
	そ の 他	・ 杉 ・ 赤松 米松		
	は り（丸 太）	・ 赤松 ・ 黒松 米松		
	は り（その他）	・ 赤松 ・ 黒松 米松		
小 屋	母 屋	・ 杉 ・ 赤松 米松		
	た る き	・ 杉 ・ 赤松 米松		
	そ の 他	・ 杉 ・ 赤松 米松		
造作材	生地表 だし 表面 塗装	・ 檜 ・ 杉 ・ 赤松米松		
板 材		・ 脱脂唐松板		
下地材				
集成材		・ 米松集成材 ・ 珩集成材		

断面寸法

構造材はひき立て寸法、造作材は仕上寸法とし、見え掛りは全て仕上カナかけとする。

防腐処理 防腐材―クレオソード油の規格品 ・1回塗り ・ 行わない
防アリ処理 ・行なう「（社）日本しろあり対策協会」認定品 ・行なわない

5. 屋根工事

下ぶき

材料 ※ ゴムスL2（ｶﾞﾙﾌﾞ）厚1.0mm
・ アスファルトルーフィング 940

工法 縦200mm以上、横100mm以上重ね合せ 継手通り及び立上りは300mm以上

着色亜鉛鉄板

材料 JIS G3312（ ・ 1類 ・ 2類）
厚さ 一般部分（※ 0.35mm ・ 0.4mm） 谷の部分（※ 0.4mm ・ 0.5mm）
つ り 子 ※ 0.4mm

長尺亜鉛鉄板ぶき

日本瓦及びセメント瓦ぶき

材料 粘 土 瓦－・ゆう菜瓦 ・いぶし瓦
セメント瓦－・和 形 ・洋 形 ・平 形
釘 一 ・鋼製（鉄製） ・亜鉛メッキ製又はステンレス（L≧45mm内外、径=2.4mm内外）
緊結輪、鋼製－（径0.9mm内外2条）

留め付け

南直しつぐき

厚型スレートぶき 材料 JIS A5402 ・平形 ・ S型 ※和形

特殊屋根材

カラーベスト等の特殊屋根材については、各製造所の仕様による。

折版ぶき ※ 重ね型 は ぎ 鋸 型 厚 さ 0.5mm ㊦ﾄﾞﾚｯﾄ表面処理

ﾈﾞﾘｯﾄﾞ+折版葺き

ｶﾞﾙﾌﾞ+鋼板－文字葺き t=0.4mm

6. 板金・金物工事

外壁鋼板張り 着色亜鉛鉄板（JIS G3312）に適合するもので、建築外板用を使用し、重ね巾は一山以上とする。

水切及び雨押え 厚さ 0.4mmとし、壁立上りは下地材裏に150mm以上とする。
種 材料 既製品105φ半円形 一部 t=0.4mm² 鋼板加工 150x100 縦樋 既製品60φ
谷樋 材質 鋼板加工 厚さ 0.4 mm
樋受金物

7. 断熱工事

・ 住宅用ロックウール断熱材 ・ 住宅用グラスウール断熱材^{kg/m3} t=100mm
・ 床下断熱材 撥水ｸﾞﾗｽﾌﾞﾗｽﾞｰﾄﾞ32kg/m³ t=42mm
・ 軟 質 繊 維 板 ・ フォームポリスチレン保温材 t=30mm
防湿層 ・ 防湿フィルム ・ アルミ箔 ・ アスファルトコートクラフト紙
・ 防湿シート（JISA6111）張り 外壁下張り

8. 左官工事

一般事項

開口部の隅、ラスの継目など、き裂が生じ易い箇所は、プaster塗り場合は布状、しゅろ毛張りなどをし、モルタル塗りの場合はメタルラスを張り付ける等の措置をする。

ラス類

ワイヤラス ・ひし形 ・甲形 ・丸形
メタルラス ・平ラス ・リプラス ・波形ラス
ラスシート ・LS1 ・LS2 ・LS3 ・LS4

モルタル塗り

材 料 JIS R5210（ポルトランドセメント）に適合するもの。
混和材 JIS A6902（左官用消石灰） ・ 上塗用 ・ 下塗用

石膏プaster塗り

・混合石膏プaster（ ・上塗用 ・下塗用） ・ボード用石膏プaster
JIS A6904（石膏プaster）に適合するもの。

ドロマイトプaster塗り

・上塗用 ・下塗用 JIS A6903（ドロマイトプaster）に適合するもの。
せんい壁塗り ・一般用 ・特殊用（ ・難熱性 ・耐湿性 ・耐アルカリ性 ）
しゅくい塗り ・上塗用 ・下塗用 JIS A5902（左官用消石灰）に適合するもの。
土壁塗り

役 物 内壁 ・使用しない ・使用する（ ・面取 ・巾木 ・入隅 ・出隅 ）
外壁 ・使用しない ・使用する（ ・入隅 ・出隅 ・ ）

吹付け仕上げ セメント砂壁状吹付材 工 程
合成エマルジョン砂壁状吹付材 種類
複層機様吹付材 種類 ｱｸﾘﾙ弾性吹付ﾀｲﾙ

珪藻土塗り ※ 北のやすらぎ（ 稚内珪藻頁岩壁材同等品）

9. タイル、石工事

タイル張り				
品質は JIS A5209（陶磁器質タイル）に適合するもの又はこれと同等以上のものとする。				
施 工 箇 所	工 法	寸 法	呼 び 名	

石 張 り 施 工 箇 所

10. 組積工事

コンクリートブロック JIS A5406（空間コンクリートブロック）の規格品 ・C種 ・標準仕様
レンガ積
A L Cその他 床用 ALC版 t=37mm
外壁 ALC版 ﾌﾗｯｸﾞ ｷﾞﾀﾞ t=37mm

11. 建具工事

金属製建具
原則として優良住宅部品（B Lマーク）認定品、又はこれと同等以上のものとする。
品質－
木製建具
材料 一木材は充分乾燥した芯去り材とし、建具材の日本農林規格による。
一般部分 コリヤ樹脂木材接着材 ・ 1種（木工、集成材用） ・ 2種（合板用）
水掛り部分 フェノール樹脂木材接着材 ・ 1種（木工、集成材用） ・ 2種（合板用）
金物 一原則としてJIS規格品とし、見本品を提出して監理者の承認をうける。
紙見本品
アルミ製建具
JIS 規格品、優良住宅部品（B Lマーク）認定品及び製品指定品とする。
ガラス
JIS 規格認定品及び製品指定品とする。

12. 塗装工事

一般事項
材 料 塗料はすべて JIS 規格品とする。
色 合い 見本帖又は見本塗り板を提出し、監理者の承認をうける。
素地ごしらえ 塗り面の下地の性質に応じた適切な処置を行なう。

油性及び合成樹脂調合ペイント塗り
木 面 ・ 2回 ・ 3回 鉄 面 ・ 1回 ・ 2回
錆止め塗料 屋外階段、手摺 鉛丹錆止めペイント
その他 鉛丹ジंकロメート錆止めペイント
ウレタン樹脂ワニス塗り 木 面 ・ 2回 ・ 3回
クリヤラッカー塗り 木 面 ・ 2回 ・ 3回
油性ステイン塗り 木 面 ・ 2回 ・ 3回
塩化ビニール樹脂エナメル塗り モルタル、プaster、石綿セメント板類 ・ 2回 ・ 3回
合成樹脂エマルジョンペイント塗り モルタル、プaster、石綿セメント板類 ⊙ 2回 ・ 3回
無色着色系木材保護塗装 木 部 2回塗り（OOWP:ｽﾀｲｶｶﾞｰｸﾞﾗﾝﾄﾞペｲﾝﾄ同等品）

13. 内装工事

畳敷き JIS A5902 ・特級 ・1級 ・2級 ・3級
ビニール床シート張り JIS A5707 ※住宅用 ・一般用
フローリング張り
「フローリングの日本農林規格」に適合するもの。 床暖房用適合品
合板張り
「普通合板、難燃合板及び構造用合板の日本農林規格」に適合するもの。
特記なき限り水掛りは1類使用
ボード類
JIS 規格品とし、防火認定材料は認定表示シールのあるものとする。
壁紙張り
JIS A6921（壁紙）適合するもの。又はこれと同等以上のものとする。
カーペット敷き
下敷材は蕨麻フェルト⊕5mm2割としし、パイル系毛玉5mm程度とする。
クロス貼り
日織品程度とし、火気使用箇所防火認定ラベルの表示のあるものとする。

14. 雑工事

シーリング材
シリコンシーリング材、ユニット類配管廻り、浴槽、台所水切廻り等
ポリサルファイドシーリング材、外部開口部四方、レジスター、換気扇廻り等
フロアーハッチ ・ 600角7à絆（化粧）
ハイハッチ ・ 450角7à絆（化粧）

15. その他
<ol style="list-style-type: none">保険等 <p>本建物引渡しまで請負者は工事目的物、工事材料等について火災保険をかけなければならない。 工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者の負担とする。</p> 産業廃棄物の取扱いについて <ol style="list-style-type: none">請負者は、解体工事着手前に施工計画書を提出し、監督員の承諾を受けること。 請負者は、解体工事に伴い発生する騒音・振動等の防止について関係法令を遵守の上施工すること。 下請とする場合は、この旨を指示し、指導すること。 廃棄物の処理にあたっては、請負者が自ら処理するときは、「廃棄物処理法」に基づき、自らが廃棄物の収集・運搬をして、自社の処理場へ処分するか、又は知事の許可を取得している処分業者の処分場へ、処分を委託すること。 廃棄物の処理を下請人に委託するときは、産業廃棄物法に基づく、産業廃棄物の収集・運搬及び処分を業として、知事の許可を取得している者に委託すること。 竣工したときは、最終処分地の案内図、処分写真及び24時間制に基づく最終伝票を提出すること。 下請人に委託したときは、産業廃棄物処理業の許可証の写を提出すること。 リサイクル法に基づく届出は、請負者において行うこと。

- VOC対策
 - 合板及び板類仕上材は全てF☆☆☆☆品を使用する事。
 - 本工事に使用する 建材・塗料・接着剤 等は、原則として揮発性有機化合物(VOC)のシックハウス対策対応品を使用する事。
 - 室内空気中化学物質検査を行う。

優先取組物質(ｶﾙｼﾞﾂﾞﾆｰﾄﾞ、ﾌﾙﾝ、ﾈﾌﾄﾝ)の3物質と、現場施工木材保存剤・可塑剤・防霉剤の3薬剤)
①請負者の責任において「厚生労働省が定める室内湿度に関する指針値」によるVOC測定を行う。
②指針値以下であることの証明書を提出する。
③濃度検査合格後に工事目的物の引渡しを行う。
④建設工事請負契約書(標準約款)に特記事項として①～③を追加し、請負業者に義務を課す。

16. 佐久地域寒冷地仕様（参考）

- 根切深さ 当該地方は冬の気温低下が著しい為根切深さは凍結深度以下を標準とする。凍結深度は各市町村の水道局に問い合わせ参考とし、設計者の責任において決定する。
・ 建築場所によって条件が違う為水道局問い合わせを基本とするが 標準550mは根切り深さ550mと置き替えて決定する方法もある。
- 積雪量 長野県ホームページにアクセス分野別だがす一住宅と生活→住宅 建築→住まいづくりまちづくり総合情報→建築基準法・構造計算・建築士法のページ→垂直積雪量算定式ダウンロードにて利用する。
R C又はS造の部分でヒートブリッジ現象の起こりやすい、外部廻りより1m以内の部分には建築工事・電気設備工事・機械設備工事のすべてに結露防止用断熱工事を施工する。（ヒートブリッジ現象：寒冷地で建物の外部と内部に温度差があり外部の熱が躯体等に伝導して内部との温度差により結露現象が起こること。）
- 結露対策

※ 建築士事務所協会佐久支部賛助会員名簿	（一般社団法人）長野県建築士事務所協会佐久支部監修		
会 社 名	TEL・FAX	P R又は取扱商品	○印は本設計に採用商品です。
アルファランパー株式会社	TEL 0267-82-5600 FAX 0267-82-5720	木材からサッシ、水廻りと住まいに関する商品を取り扱い、お施主様が安心できる住まい通りのサポートもさせて頂いております。	
株式会社 藤 東北信支店	TEL 026-233-0101 FAX 026-233-0106	・ 杭工事 ・ 地盤改良工事 ・ ベースバック ・ 地中熱 ・ 鋼製建具 ・ 屋根工事 ・ アスロック ・ イソバンド ・ 外断熱工事	
株式会社 カネト	TEL 0267-92-2501 FAX 0267-92-2509	佐久・軽井沢・上田・長野に4店舗を構え、建築資材・自然素材・サッシ・設備機器・太陽光発電システム等を販売する総合会社です。	
株式会社 オークサ・マテックス	TEL 0267-62-2346 FAX 0267-62-2008	弊社は商品・技術・設備を一体化した建築資材の総合会社であり社会環境の構築及び環境保護に貢献致します。	
東信生コソ事業共同組合	TEL 0267-24-3500 FAX 0267-24-3501	「コンクリートは人命を守る」を常に頭に置き、益々々品室管理の要求される生コンクリートの共同販売事業を行っております。	
富国産株佐久支店	TEL 0267-67-7551 FAX 0267-67-7555	建築資材販売（住宅・ビル用建材、設備機器） 専門工事（外壁・屋根・基礎杭・太陽光発電等）外壁サイディングプレカット事業	
ミヤモリ株式会社	TEL 0267-68-0001 FAX 0267-68-0006	木材、建材、住宅機器等資材販売を中心に、太陽光発電・スマートハウス関連商品の施工販売を行っています。	
望月ガス株式会社	TEL 0267-53-6111 FAX 0267-53-6008	太陽光発電＋ガス発電(エネファーム・エコウィル)のダブル発電 お風呂暖房 ・ 乾燥 ・ ミストサウナ(ガス温水式)	
株式会社 東北信支店	TEL 026-233-0101 FAX 026-233-0106	杭工事・地盤改良工事・山留工事・地中熱・鋼製建具 屋根工事・アスロック・イソバンド・外断熱工事	
株式会社 二見屋	TEL 026-284-3113 FAX 026-284-2007	日本の文化伝統美を運び伝える技術の二見屋	
株式会社 信濃公舎研究所	TEL 0267-56-2189 FAX 0267-56-1843	シックハウス測定・アスベスト・水質分析・土壌分析など、目に見えない物を数値として表すサービスを提供しています。	
YKKAP 株式会社 建設材事業部関東統括支店長野支店	TEL 026-267-7700 FAX 026-235-5414	生活空間から都市空間まで、時代に応え、未来を開く YKKAP 建設材事業部関東統括支店長野支店	
長野都市ガス株式会社	TEL 0267-68-5252 FAX 0267-68-5214	建築計画の際は環境にやさしいガス器具のご提案やガス安全管理状況を具体的に説明いたします。	
TOTO 株式会社 佐久営業所	TEL 0267-44-1010 FAX 0267-67-6665	TOTOならではの技術を搭載し、節水・節湯・節電などの環境負荷の少ない商品で、水まわりをトータルに提案しています。	
ニチハ(株)長野営業所	TEL 026-225-6171 FAX 026-225-6174	住宅から耐火物件まで幅広い建物に、キレイで30年メンテナンスフリーの外壁をご提供します。	
(株)ケンショウ	TEL 0267-92-4350 FAX 0267-92-4321	住宅建設資材販売等を手掛け、公正と信用を重視し堅実な経営のもと住生活に関するサービスを通じ豊かな地域社会の実現に貢献しています。	
(有)E. C. O	TEL 0268-42-0607 FAX 0268-42-0596	主に廃タイヤ発生材・環境に配慮したゴムチップの提案・施工・販売 研究・開発。高齢化社会や働く人の安心の提供・滑りにくい靴の販売	
(株)ミツルヤ製作所	TEL 0263-25-8333 FAX 0263-26-8889	木製造作家具製作、リノスボードの家具、デッキ、ルーバー製作。企画提案、家具図等作成から施工までを業務とします。	
(株)中村体育	TEL 0268-75-5585 FAX 0268-75-5595	子どもの知力や体力を増やす道具の製造・販売をしています。	
(株)化研工業	TEL 0268-42-0607 FAX 0267-62-6491	点検保守も行い道具等の安全を管理します。	
(株)司 硝子	TEL 0267-66-3600 FAX 0267-62-6969	防水工事全般 外壁診断業務 ガラス工事全般	

	設 計	製 図	設計年月日	図 面 名 称	縮 尺	工 事 名	
			2011. 02. 30	建築工事特記仕様書〔木造〕	1：NON	邸新築工事	A－2